令和６年度第１回碧南市文化財保護審議会　会議録

日時

令和６年５月８日（水）午後３時～４時１５分

場所

碧南市文化会館　３階　会議室１

出席者及び欠席者

(1) 出席者　会長　浅井久夫、副会長　野村清尚、委員　曲田浩和、委員　伊藤利和、委員　北村恒

(2) 欠席者　委員　岩田敏也、委員　石川博章

(3) 事務局職員　教育長　生田弘幸、教育部長　山田昌宏、文化財課長　杉浦宏真、文化財課長補佐　木村理恵子、文化財課文化財係長　豆田誠路、文化財課学芸員　築山拓磨、加藤有美

傍聴者　０人

議題

１　あいさつ

２　委員の委嘱について

３　委員及び事務局職員の紹介

４　副会長の指名について

５　議題

協議事項

(1) 令和６年度事業計画（案）について（資料１）

(2) 令和６年度文化財展について（資料２）

その他連絡事項

議事の要旨

１　あいさつ（生田教育長、浅井会長）

２　委員の委嘱について

３　委員及び事務局職員の紹介

４　副会長の指名について

碧南市文化財保護条例第７条第２項の規定により「副会長は会長が指名する」こと

により、浅井会長が野村委員を副会長に指名した。

（生田教育長・山田教育部長、ここで公務のため退席）

5　協議事項

(1) 令和６年度事業計画（案）について（資料１）

事務局が会議資料に基づき、令和６年度事業計画（案）について説明した。審議の結果、委員の協議内容を踏まえ進めていくことで了承された。

＜主な意見・質疑＞

【Ａ委員】富岡鉄斎展はなぜ歴史系企画展なのか。

【事務局】１０年前に開催した富岡鉄斎展も歴史系企画展として行った。鉄斎が大浜の石川三碧邸に滞在して作品を残したという歴史的事実から歴史系として紹介。

【Ｂ委員】巡回展の中で、歴史系にどうやってもっていくのか。印や山中信天翁の説明など、歴史系と名乗る意味を考えできる範囲でアレンジしてみては。

【事務局】富岡鉄斎と碧南にどういう関係があるか、観覧者が興味を持たれることもあると思うので、できる範囲で展示していきたい。

【Ａ委員】重要文化財の講演会で小さなパンフレットを作り、ＰＲしていくことは可能か。

【事務局】所有者と方法を確認しながらＰＲしていく。パンフレットに関しては検討していく。

【Ｂ委員】新川中央病院は、どのような患者がいたのか。

【事務局】調査中。以前から、近代建築の本で取り上げられている病院である。当時の手術台やレントゲン室も残っている。資料は少ないが、写真や情報が出てくる可能性もある為、情報収集に努めていきたい。

(2) 令和６年度文化財展について（資料２）

事務局が会議資料に基づき、令和６年度文化財展の（案）について説明した。審議の結果、委員の協議内容を踏まえ進めていくことで了承された。

＜主な意見・質疑＞

【Ｂ委員】資料が盛りだくさん。神谷傳兵衛も入れると大変なのでは。主旨を明確にし、筋を作って考えると良い。

【Ｃ委員】テーマを一つ持って、幹と枝をはっきり分ける。

【Ａ委員】レールパークは面白い跡地利用をしている。小さい説明板に、昔線路が

あったなど、その歴史を紹介していくのはどうか。

【事務局】商工課、観光協会とお話しできればなと。棚尾には「棚尾の歴史を語る会」もあるため、注目しながらやっていきたい。

【Ｃ委員】子どもは鉄道好きだから、興味を持たせる展示を。

【事務局】いろんな世代の方に見てもらえる展示にするために、幹を定め分かりやすい展示にする。

【Ｂ委員】昔は、鉄道が通ると電気が通った。この辺りはどうか。

【事務局】三河の要素も調べていく。

【Ｃ委員】なぜ鉄道をひいたのか。目的がわかると面白い。

【Ｄ委員】鉄道関係のモノがあまり残っていない。碧南駅から戦地へいく写真は残っている。戦争の視点も考えてみては。

【Ｃ委員】鉄道関係のモノの保管はないか？

【Ｄ委員】鉄道系はマニアが多いが、処分されてしまっているモノも多い。

【事務局】計画としては、関係者から模型など提供していただけないか話をしていきたい。

６　その他連絡事項　なし